

第134回日商簿記3級 第1問 仕訳問題類題 問題

次の各取引について仕訳しなさい。ただし、勘定科目は次の中から最も適切と思われるものを選ぶこと。

現金	当座預金	普通預金	受取手形
売掛金	前払金	前受金	備品
備品減価償却累計額	支払手形	買掛金	未払金
未収入金	当座借越	資本金	売上
固定資産売却益	仕入	発送費	通信費
減価償却費	固定資産売却損		

- 平成20年2月1日に取得した備品（取得原価：¥ 600,000、残存価額：ゼロ、耐用年数：10年、償却方法：定額法、記帳方法：間接法）が不要になったので、平成24年7月31日に ¥ 300,000 で売却し、代金については翌々月末に受け取ることにした。なお、決算日は3月31日とし、当期首から売却時点までの減価償却費は月割で計算すること。
- 長野商店に商品 ¥ 700,000 を売り渡し、代金のうち ¥ 50,000 については注文時に受け取った手付金と相殺し、¥ 400,000 については上杉商店振出し、長野商店受取りの約束手形を裏書譲渡され、残額は掛けとした。なお、長野商店負担の発送費用 ¥ 10,000 については現金で支払った。
- 先月末に受け取った得意先黒田商店振出しの小切手 ¥ 800,000 を当座預金に預け入れた。なお、当座預金出納帳の貸方残高は ¥ 700,000 であり、当店は取引銀行との間で借越限度額 ¥ 2,000,000 の当座借越契約を締結している。
- 営業活動のために使っている携帯電話の4月分の利用料金 ¥ 84,000 が普通預金口座から引き落とされた。
- 仕入先伊達商店に買掛金 ¥ 180,000 を現金で支払った際に、誤って仕入に計上していたことが判明したので、本日これを訂正する。